



さかそう通信

Sakaso

「ともにさかそう 笑顔とお互さまのまち 阪南」～ 自分を取り巻く人や自然などの環境と繋がり、互いに慈しみ、思いやり、感謝し、自らができる役割を担いながら【お互いさま】、市民や各種団体、事業者、市役所が協働して【ともに】、市内に花を咲き誇らせ、緑を大切に自然を守る【花を咲かせる】、産業や地域資源を活かしてまちを発展させる【まちを栄かせる】、人(人財)を大切に【人を咲かせる】ことにより、市民みんなから笑顔がこぼれる【笑顔を咲かせる】まちにしていこう～「さかそう通信」お届けします。

こんにちは。市議会議員の上甲です。日に日に真夏へと向かっていっているようです。季節の変わり目、体調管理には十分お気を付けてください。さかそう通信18号、まずお詫びしなければなりません。

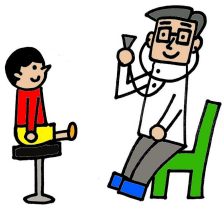
お詫び

先月お届けいたしました「さかそう通信17号」に誤りがありました。

子ども通院医療費「無料」と書きましたのは、正しくは『助成』でした。小学6年生以下のお子さんは、その月の初回、二回目の診療には500円が必要です。500円を超える部分は助成されます。阪南市では助成制度は7月スタートされます。

正しい情報を市民の皆様にお伝えしなければならぬのに、あつてはならない誤りです。申し訳ありませんでした。今後、このようなことの無いよう、十分気を付けてまいります。

上甲 誠



阪南市マニア向け れきし大集合!

今回の「さかそう通信」では阪南市の長い歴史の中で興味深いものをピックアップしてみたいと思います。

【阪南市マニア向け年表】

1万年前	蓮池近くで人が生活
1千年前	鳥取荘・箱作荘が自治
9百年前	天皇が何度も熊野詣
4百年前	織田信長、波太神社へ
4百年前	舞にダンス集団
3百年前	色んな産業が活発化
明治8年	箱作・波有手小学校
昭和27年	鳥取ダム水害発生
平成27年	まちづくり元年

蓮池近くで人が生活

波太神社の西北に蓮池(はずいけ)があります。

蓮池の底から旧石器時代のヤリの先の石器が発見されています。蓮池は17世紀に池に整備されてきて、それま

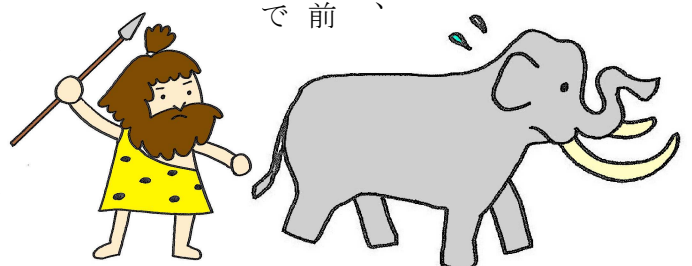
では台地の一部でした。池底に散布する遺物を総合すると

旧石器時代、縄文、弥生、

古墳時代と各時代のものが混在するので、

今より一万年前からこの近辺で

脈々と人々の生活が営まれていた事が分かります。



(注) ナウマンゾウは発見されておりません。

また、古墳時代に阪南市では石工集団がいて、古墳の石棺などを作っていたようです。「箱作」の地名の由来とも言われます。箱作、現在の泉ヶ丘には前方後円墳もありましたが戦後宅地開発によって消滅しました。

鳥取荘・箱作荘が自治

西暦一〇一二年、和泉国で荒れた田をきつちり開発しようという命令が出たことを皮切りに荘園制という自治制度ができます。阪南市では鳥取荘・箱作荘(「管作」という字でした)の二つの荘園がありました。

実はこのころの資料が乏しく、詳しく内容がはつきりしておりません。



ほぼ毎日更新中！

<http://mac-joe.net/>

阪南市のお得情報、イベント、
こんなこと知りたかった、満載!!



左記、

ブログ

引越しました

これからも
「ほぼ」毎日
頑張ります!

市政相談・お問い合わせ

お気軽に



上甲誠市政相談所

大阪府阪南市舞 4-30-2

電話 072-474-9211

メール mac@j.zaq.jp

天皇が何度も熊野詣

西暦一〇七三年、第72代天皇である白河天皇が即位して以降、たくさんのお天皇が熊野詣をされております。(ちなみに今上天皇陛下は第125代天皇であられます) 天皇のご一行は京都から舟で淀川を下り、難波から堺に出て、ほぼ阪和線に沿って南下し、山中溪を通り紀伊に抜けていきました。「ありの熊野詣で」と言われるように数十人の行列です。 回数は白河上皇9回、鳥羽上皇21回、後白河上皇34回、後鳥羽上皇28回です。熊野詣の目印である「九十九王子」が山中溪に2か所残っています。「地藏堂王子」と「馬目王子」がそれです。

織田信長、波太神社へ

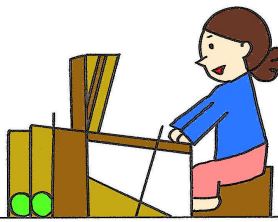
西暦一五七七年、織田信長は石山本願寺(今の大阪城)を倒すために、まず和歌山の雑賀(さいか)衆を抑えようと和泉・河内に出兵します。泉佐野まで来た一行は山手チームと浜手チームの二手に分かれ和歌山を目指します。山手チームは佐久間信盛、豊臣秀吉、荒木村重、別所小三郎など。浜手チームは滝川一益、明智光秀、丹羽長秀、細川藤孝など豪華キャストです。 山手メンバーは先に紀ノ川渡口まで到着。しかし浜手メンバーは淡輪から先、ちよっと手こずります。信長は後から淡輪に到着しますが、状況を見て、少し戻って阪南市の波太神社で本陣を張りました。

舞にダンス集団

17世紀、現在の「貝掛中」交差点のコスモ石油さん辺りでしようか、「舞村」という小さい村がありました。波太神社に歌・舞を奉納していた集団が住んでいたと考えられています。

色んな産業が活性化

江戸時代には瓦産業、和泉砂岩を使った石工の活躍、サトウキビを育てる泉州砂糖の生産、木綿を育てて綿織物の製造などたくさん の産業が活性化しました。



箱作・波有手小学校

明治8年に箱作小学校・波有手小学校が出来たのを皮切りに、これまでに140年間、阪南市には子ども達の教育環境を守る学校がたくさん出来ました。現在、少子化のため、また子ども達の教育環境改善のため、市内小中学校の整理統合計画が進んでいます。

鳥取ダム水害発生

昭和27年7月11日、鳥取池(現在の鳥取ダム)が決壊しました。局地的豪雨と、戦時中の森林の乱伐、そして池自体が戦時中の不足がちな資材で築造され弱かったことなど悪条件が重

なり、山崩れと共に大洪水が起きます。行方不明者51名、牛15頭が死亡、多くの家や田畑、橋梁が流されました。昭和29年に復旧工事着手、農業用ダムとして昭和33年に完成しました。

まちづくり元年

本年、平成27年度を阪南市長は「まちづくり元年」と位置づけ、様々な施策に取り掛かっています。

今回「阪南町史」を紐解く中、素敵な文が載ってましたので披露します。

阪南町(市)は瀬戸内海の東端、大阪湾に臨み、和泉山脈の北斜面に位置するため、気候は瀬戸内式気候に属し、温暖で比較的雨量が少なく、わが国でも晴天の多いところ。また山を負い海に臨む本町(市)の地形環境によって、大気めぐりも良く、空気が清らかで風光明媚な生活環境である。

歴史から見ても、多くの可能性を秘めた阪南市、これからも大切にしていきたいと思えます。

最後までお付き合いいただきまして、ありがとうございました。

これからも一生懸命頑張ります。 ブログ・上甲誠後援会も含めて、阪南市議会議員 上甲 誠を今後ともよろしくお願ひします。